

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 油山福祉の里

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 11 月 4 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は2ヶ月毎に定期的で開催しているが、外部からの参加者が固定化し少ない状況なので、主に報告が中心で、外部の目を通した意見や要望、情報等が活発に出る会議にして、ホームの運営や業務改善に取り組んでいく、	地域で活躍されている有識者や知見者、複数の民生委員に声を掛け、会議に参加して頂き、それぞれの立場から、意見や質問、要望等を提案し、ホーム運営に貢献して貰う等、参加委員にとっても会議が有意義で、知識を習得する機会として、「会議に参加して良かった」と思われる運営推進会議にしていく。	12ヶ月
2		グループホームの今後の在り方について	開設時は、入居できる方は、日常生活が出来て、共同生活が出来る方を対象としていたが、現在は、看取り介護と、利用者の最後を看取るサービスの提供になってきたが、職員の数は、現状のままで、どのような方法で看取り介護に取り組んでいくかを検討していく。	利用者の重度化が進めば、職員の介護に費やす時間が増加し、介護の質を落とさずに、利用者や家族に満足して貰える介護サービスの提供を目指し、職員の介護技術の向上と、意識の高揚を図り、職員間のチーム介護の充実を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。